

その他各部会の意見・提案への対応方針

	自治協からの意見・提案	対応方針	所属
1	<p><農に親しむ> ○生産者と販売者、消費者をつなぐ地産地消の交流拠点が求められることから、農産物直売所等への支援などを検討いただきたい。</p>	<p>○平成30年から令和2年まで直売所を対象にしたスタンプラリーを3年間実施しました。 ○今後も継続して地産地消を推進するため、コロナ禍を踏まえた様々な取り組みを検討していきます。</p>	産業振興課
2	<p><農に親しむ> ○PRだけではなく、生産者が抱える課題の解決に繋がる取組を実施いただきたい。様々な困りごとを相談できる場や、そのような情報をわかりやすく発信することが必要ではないか。</p>	<p>○農業者が抱える問題については、JAなど関係機関と協力しながら、各種補助事業を活用して頂く等、市全体で様々な対応をしているところです。 ○今後も関係機関と共に、農業者へ適宜情報発信をし、様々な支援を継続していきます。</p>	産業振興課
3	<p><新たな取り組み> ○子育てしている母親を対象に亀田縞を知ってもらい、エプロン作成などの体験、その体験などを発信していく事業を実施してはどうか。</p>	<p>○子育てしている母親や学校での製作体験の提案は、実施の対象など亀田縞利用促進協議会や関係機関との調整が必要となりますが、亀田縞のさらなる認知度向上や魅力の発信について、引き続き協議会として実施していきます。</p>	産業振興課
4	<p><地域ブランド「亀田縞」の販路拡大> ○小学校に亀田縞の生地を提供し、エプロンやトートバックづくりに使ってもらうなど学校との連携により亀田縞を活用してはどうか。</p>		産業振興課
5	<p><新たな取り組み> ○子どもの地元への愛着の醸成のため、各漁協と協力しながら漁の見学や体験をさせる取り組みを検討いただきたい。</p>	<p>○開催時期や関係機関との調整が必要となりますが、まち歩きやバスツアーの際に体験するコンテンツの一つとして検討します。</p>	産業振興課
6	<p><江南区安心・安全な地域づくりの推進> ○避難所運営体制連絡会の時間内で、話し合いが終わらないので、開催時間を長くいただきたい。</p>	<p>○令和4年度の避難所運営体制連絡会(現地検討会)の日時は、各避難所の関係者(地域・施設管理者・市職員)で決定していただいている。検討テーマの内容がその場で決定しない場合については、別日に検討をしていただいている避難所もある。それぞれの事情もあることから、個別の課題等については別途ご相談いただきたい。</p>	地域総務課
7	<p><「江南区をPR」魅力発信プロジェクト> ○ラジオを活用し、区として番組やコーナーを持つことを検討いただきたい。</p>	<p>○ラジオは有効な広報手段の一つであるが、まずは、区において定期的・継続的に発信できる内容等を集めていくことが必要と考えます。 ○様々な広報ツールが存在する中で、対象や内容に応じた効果的な発信方法を検討していきたい。</p>	地域総務課
8	<p><「江南区をPR」魅力発信プロジェクト> ○県内に来ている学生に対するアピールすることも有効。残ってもらうという視点も重要と考える。</p>	<p>○県内に来ている学生へのアピールも有効であると考えますが、まずは、大学が立地している区や市の学生支援の取組状況を注視しながら、情報共有を図っていきたいと考えます。</p>	地域総務課

	自治協からの意見・提案	対応方針	所属
9	<p><新たな取り組み> ○水辺に囲まれている江南区の特徴を活かし、阿賀野川沿いの公園を活用して水辺の魅力を感じられるイベントの開催を検討いただきたい。</p>	<p>○水辺でのイベント開催は、区の魅力を感じられるほか、賑わい創出や地域活性化にも寄与すると考えます。 ○このようなイベントは民間等が主体となり検討・実施するものと考えますが、提案があった場合、実施に向けて区として可能な支援を行っていききたい。</p>	<p>地域総務課 産業振興課 建設課</p>
10	<p><新たな取り組み> ○区内の既存の看板(案内板)のデザインに統一性がない。区内の魅力あるスポットをピックアップし、統一した洗練されたデザインで作直し、それらを巡るツアーの実施を検討いただきたい。</p>	<p>○現状、旧亀田町および旧横越町エリアにそれぞれ当時設置された案内看板(説明看板)があります。 ○既存案内板の現状把握をはじめ、設置場所やデザインを含む手法などについて、多様で幅広い視点で検討が必要なことから、今後、まちづくり部会でも検討いただき、計画的に取り組んでいくことが必要であると考えます。</p>	<p>地域総務課 産業振興課</p>
11	<p><こあがの川フィッシング大会> ○開催について、収穫が見込まれる頃に行うとともに、今年度の開催結果を踏まえて回数を増やすことをお願いしたい。</p>	<p>○開催回数を検討する際は、季節や天候などのほか、ご提案のあった川での漁の時期についても検討材料の1つとしていきます。</p>	<p>建設課</p>
12	<p><地域で見守り応援事業～見守る目見守る心～> ○認知症カフェのような家庭内介護等で苦勞している人の居場所づくりを検討していきたい</p>	<p>○介護を行う家族の悩み相談や情報交換ができる場所として、介護者の集いや家族会が開催されています。開催情報は市ホームページで確認いただくか、または健康福祉課までお尋ねください。 ○介護者の集いは、ご近所での開催を希望する場合や、自宅から離れた会場で知らない人が集まる場所を希望する場合もあり、参加者によりご希望は様々です。新たな介護者の集いを設置する場合には、健康福祉課までご相談ください。</p>	<p>健康福祉課</p>
13	<p><地域で見守り応援事業～見守る目見守る心～> ○子育てしているママたちが、月に1、2回程度定期的に集まり話し合い、困りごとなどの共有を行えるコミュニケーションの場を検討していただきたい。</p>	<p>○公民館では子育てサロン、子育て広場などを実施し、子育てしているママたちが、定期的に子育ての悩みを話したり、交流したりできるよう場の提供を行っています。 ○また、健康福祉課では江南区子育て交流会を開催し、子育てを応援してほしい人同士が交流できる場を提供しています。 ○いただいたご意見を、公民館・健康福祉課で一緒に検討していきます。</p>	<p>健康福祉課 各地区公民館</p>